

中間評価

中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
周南市事業担当課（中心市街地整備課、公園花とみどり課、都市政策課、道路課、庁舎建設課、商工振興課）	平成31年2月
	公表の方法
	周南市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>交付対象事業により中心市街地の拠点機能を強化させた結果、都市の魅力が向上し、指標の改善が見られる。交通結節点および商業の拠点である「徳山駅周辺」において徳山駅前賑わい交流施設等を整備した結果、「中心市街地内の歩行者等通行量」の指標が改善しており、効果の発現が見られる。行政拠点である「市役所周辺」において新庁舎（市民交流施設）等を整備した結果、「中心市街地の人口割合」の指標が改善しており、効果の発現が見られる。</p> <p>一方、文化拠点である「徳山公園周辺」において徳山動物園（博物館相当）リニューアル事業中であることから、「動物園入園者数」の指標について中間目標を達成していないが、指標に資する事業の多くが未完のため、効果の発現は本年度以降と考えられる。</p>
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
計画通りに事業を進捗させる。また、事業効果の発現を加速させるため、都心軸の拠点整備により機能強化された施設等を活用し、商店街や市民等が賑わいを創出する活動に対する支援を行う。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	中心市街地内の5地点における10時～19時の間の歩行者等の通行量	
	中間目標値	11500人
中間実績値	12386人	
2	賑わい交流施設内の会議室、市民交流センターの年間の利用者数	
	中間目標値	16800人
中間実績値	人	
3	市全体人口に対する中心市街地の人口割合	
	中間目標値	4%
中間実績値	4%	
4	動物園の年間利用者数	
	中間目標値	320000人
中間実績値	282505人	
5	本事業に関連した新規女性就業者数（累計）	
	中間目標値	7人
中間実績値	人	



# 都市再生整備計画 モニタリングシート

周南市中心拠点再生地区

平成31年2月

山口県周南市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	山口県		市町村名	周南市		地区名	周南市中心拠点再生地区		面積	157ha		
交付期間	平成27年度～32年度		事後評価実施予定時期	平成33年度	モニタリング実施時期	平成30年度	交付対象事業費	6,900百万円	国費率	0.5		
1) 事業の状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業	事業名					事業進捗の状況(順調か、遅れているか)					
		基幹事業	地域生活基盤施設(ポケットパーク)、高質空間形成施設(銀座通歩車共存道路、銀南街リニューアル)、高次都市施設(賑わい交流施設、市民交流施設)、中心拠点誘導施設(賑わい交流施設(図書館))					概ね計画通り進捗している				
		提案事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-					-				
		関連事業	-					-				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路((都)徳山停車場線、(都)海岸通線)、地域生活基盤施設(情報案内板)、高質空間形成施設(南北駅前広場・駅前ロータリー美装化、岐山通美装化)、中心拠点誘導施設(徳山動物園(博物館相当施設))			国の重点的な支援を受けるため、街路事業(A-2、A-3)から都市再生整備計画(A-1)へ移行する。			目標への影響なし。指標及び数値目標は据え置く。			
関連事業		(都)徳山公園、Zooつと周南推進事業、Zoo夢アップ21ハード事業、Zoo夢アップ21ソフト事業、コンビナート電力活用事業、案内標識設置事業、公共空間賑わい創出事業、女性いきいき輝きプロジェクト、都心軸空間デザイン事業			各拠点間の連携効果の強化により、中心市街地の活性化、広域的な拠点機能の向上を図る。			新たに指標5、6を追加し、活性化の指標とした。				
交付期間の変更	当初	平成27年～31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		国の重点的な支援が受けられる「地方創生コンパクトシティ」のモデル都市への応募に伴い、応募要件を満たすように交付期間をH32年度まで延長し、効果を明確に計るため、指標1を変更、指標5、指標6を追加した。						
	変更	平成27年～32年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		モニタリング		目標		総合所見	今後の対応方針	
		単位	基準年度	目標年度		計測年度		達成見込み				
	指標1	中心市街地内の歩行者等通行量	人	10,826	H26	12,000	H32	12,386	H30	あり ●	徳山駅前賑わい交流施設の整備等により通行量が増加している。	引続きハード面の整備に取り組むと共に、今後はソフト面にも取り組む。
	指標2	賑わい交流施設利用者数	人	15,905	H25	17,500	H32	-	-	あり ●	(モニタリング段階で指標を測定できないので効果を評価することができない。)	
	指標3	中心市街地の人口割合	%	3.90	H26	4.00	H32	4.2	H30	あり ●	中心市街地内において都市機能増進施設を整備した結果、都市の魅力が向上し、人口割合が増加している。	立地適正化計画に基づき事業を推進していく。
	指標4	動物園入園者数	人	288,320	H26	370,000	H32	282,505	H29	あり ●	中間目標を達成していないが、指標に資する事業の多くが未完のため、事業効果の発現は本年度以降と考えられる。	動物園リニューアル基本計画に基づき事業を推進していく。
	指標5	新規女性就業者数	人	7	H29	60	H32	-	-	あり ●	(モニタリング段階で指標を測定できないので効果を評価することができない。)	
指標6	新規出店数	店舗	116	H29	185	H32	-	-	あり ●	(モニタリング段階で指標を測定できないので効果を評価することができない。)		
3) その他の数値目標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		モニタリング		目標		総合所見	今後の対応方針	
		単位	基準年度	目標年度		計測年度		達成見込み				
	その他の数値指標1											
その他の数値指標2												
4) 定期的な効果発現状況												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	職員による測定及び委託業者による測定			都市再生整備計画に記載し、実施できた				● ひきつづきモニタリングを継続し、事業効果の確認と事業内容の検討に用いる。			
					都市再生整備計画に記載はしなかったが、実施できた							
	住民参加プロセス	銀座通の駐輪対策について中心市街地活性化協議会やタウンマネジメント会議で対策内容を確認している			都市再生整備計画に記載し、実施できた							
					都市再生整備計画に記載はしなかったが、実施できた				● 実証実験の結果を踏まえ、放置自転車追放ゾーンを拡大し、市営駐輪場の利用を促進していく。			
持続的なまちづくり体制の構築	徳山商工会議所、中心市街地活性化協議会、榊まちあい徳山等の支援			都市再生整備計画に記載し、実施できた								
				都市再生整備計画に記載はしなかったが、実施できた				● マルシェやオープンカフェを日常的に開催し、その収入を地域イベントや清掃活動等のまちづくりに還元できるような運営体制を協議していく。				
6) モニタリングの所見	総合所見		●	事業については概ね計画通りに進捗している			今後の事業の改善点		計画通りに事業を進捗させる。また、事業効果の発現を加速させるため、都心軸の拠点整備により機能強化された施設等を活用し、商店街や市民等が賑わいを創出する活動に対する支援を行う。			
	要改善											